

『消防設備士第6類 2019年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『消防設備士第6類 2019年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。
以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P267 【7】	誤	【7】 消火器用消火薬剤の容器又は包装に表示しなければならない事項として、規格省令上、誤っているものは次のうちどれか。 <input type="checkbox"/> 1. 放射時間 2. 消火薬剤の容量又は質量 3. 製造者名又は商標 4. 製造年月日
	正	【7】 消火器用消火薬剤の容器又は包装に表示しなければならない事項として、規格省令上、誤っているものは次のうちどれか。 <input type="checkbox"/> 1. 放射時間 2. 消火薬剤の容量又は質量 3. 製造者名又は商標 4. 製造年月
P297 ▶▶正解 & 解説 【17】	誤	【17】 正解 1. 二酸化炭素消火器 2. 「油火災」と「電気火災」に○
	正	【17】 正解 1. 車載式 二酸化炭素消火器 2. 「油火災」と「電気火災」に○
P298 ▶▶正解 & 解説 【1】	誤	【1】 正解 A. 能力単位 B. 放射距離 C. 型式番号 D. 粉末消火器
	正	【1】 正解 A. 能力単位 B. 放射距離 C. 型式番号 D. 蓄圧式 粉末消火器

P317
【13】

誤

【13】 下の写真A及びBの消火器の機器点検を抜き取り方式により行う場合、確認試料の作成要領について、下表の①～④に当てはまる語句又は数値を答えなさい。



粉末消火器



強化液消火器

正

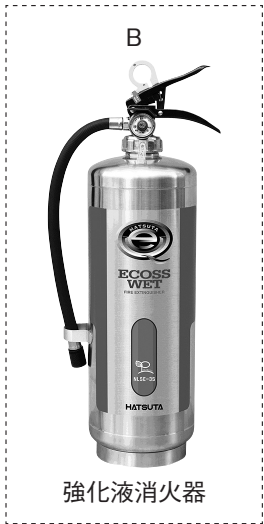
【13】 下の写真A及びBの消火器の機器点検を抜き取り方式により行う場合、確認試料の作成要領について、下表の①～④に当てはまる語句又は数値を答えなさい。



粉末消火器

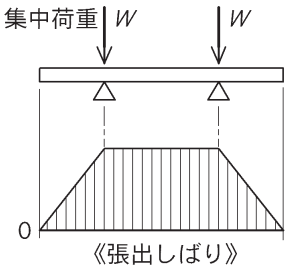
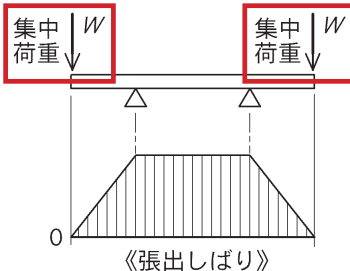
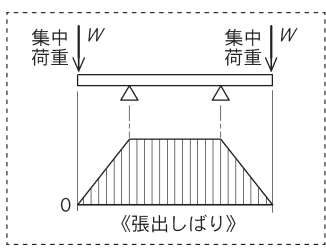


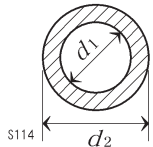
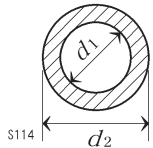
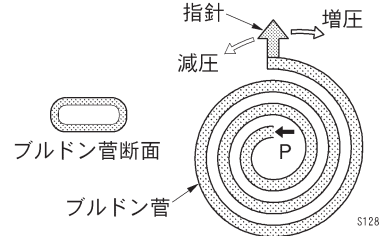
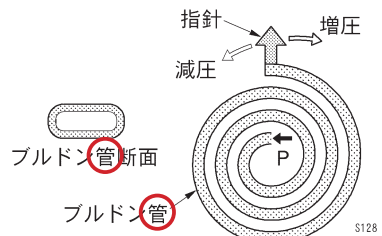
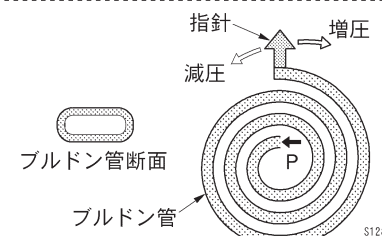
強化液消火器



強化液消火器

点線で切り取り、お手持ちの書籍の該当箇所に貼り付けてください。

<p>P24 【4】</p>	<p>誤</p>	<p>【4】 防火対象物を消防用設備等の技術上の基準が改正された後に（略） 4. 増築又は改築以前の当該防火対象物の延べ面積と、増築又は改築後の延べ面積との差が、5,000m²となる場合</p>
	<p>正</p>	<p>【4】 防火対象物を消防用設備等の技術上の基準が改正された後に（略） 4. 増築又は改築以前の当該防火対象物の延べ面積と、増築又は改築後の延べ面積との差が、500m²となる場合</p>
<p>P106～107 4.</p>	<p>誤</p>	<p>■2. はりの曲げモーメント ◎今、図の両端支持ばりに集中荷重が作用しているものとする。A 支点到に作用する力のモーメントは、次のとおりとなる。 （略） D 断面に作用する曲げモーメントは、次のとおりとなる。 〔右回りの曲げモーメント〕 = 300N × 0.3m = 90N （略） また、C 断面に作用する曲げモーメントは、最大となる。 〔右回りの曲げモーメント〕 = 300N × 0.7m = 210N 〔左回りの曲げモーメント〕 = 700N × 0.3m = 210N</p>
	<p>正</p>	<p>■2. はりの曲げモーメント ◎今、図の両端支持ばりに集中荷重が作用しているものとする。A 支点到に作用する力のモーメントは、次のとおりとなる。 （略） D 断面に作用する曲げモーメントは、次のとおりとなる。 〔右回りの曲げモーメント〕 = 300N × 0.3m = 90N・m （略） また、C 断面に作用する曲げモーメントは、最大となる。 〔右回りの曲げモーメント〕 = 300N × 0.7m = 210N・m 〔左回りの曲げモーメント〕 = 700N × 0.3m = 210N・m</p>
<p>P107 イラスト</p>	<p>誤</p>	
	<p>正</p>	 <p>点線で切り取り、お手持ちの書籍の該当箇所に貼り付けてください。</p> 

<p>P113 表中</p>	<p>誤</p>		$\frac{\pi}{4} (d_2^2 - d_1^2)$	$\frac{\pi}{32} \cdot \frac{d_2^4 - d_1^4}{d^2}$	
	<p>正</p>		$\frac{\pi}{4} (d_2^2 - d_1^2)$	$\frac{\pi}{32} \cdot \frac{d_2^4 - d_1^4}{d_2}$	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> $\frac{\pi}{32} \cdot \frac{d_2^4 - d_1^4}{d_2}$ </div> <p>点線で切り取り、お手持ちの書籍の該当箇所に貼り付けてください。</p>
<p>P147 イラスト</p>	<p>誤</p>	 <p>【圧力検出部（ブルドン管）の仕組み】</p>			
	<p>正</p>	 <p>【圧力検出部（ブルドン管）の仕組み】</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">  <p>【圧力検出部（ブルドン管）の仕組み】</p> </div> <p>点線で切り取り、お手持ちの書籍の該当箇所に貼り付けてください。</p>		
<p>P199 ▶▶正解&解説 【2】</p>	<p>誤</p>	<p>【2】 正解 1 2. (略) 3. 蓄圧式粉末消火器の蓄圧ガスの充てんには、二酸化炭素、窒素ガス、またはそれらの混合ガスを使用する。</p>			
	<p>正</p>	<p>【2】 正解 1 2. (略) 3. 蓄圧式粉末消火器の蓄圧ガスの充てんには、主に窒素ガスが使用される。</p>			
<p>P295 (初版) P296 (二刷～) ▶▶正解&解説 【9】 ※赤字を削除</p>	<p>誤</p>	<p>【9】 正解</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>1. A, B 2. B 3. C</p> </div> <p>写真Aはノズルの形状から機械泡消火器、写真Bはホーンがあることから二酸化炭素消火器、写真Cは蓄圧式の粉末消火器または強化液消火器である。しかし、強化液消火器とすると、設問1の答えはA、B、Cの3つになってしまう。また、設問3の答えに該当する消火器が存在しない。以上のことから、写真Cは蓄圧式の粉末消火器である。</p>			